

第Ⅱ章 市民ニーズ等と市民センターの課題

1. 市民ニーズの把握

(1) 狛江市民センター（中央公民館・中央図書館）に関する市民アンケート結果

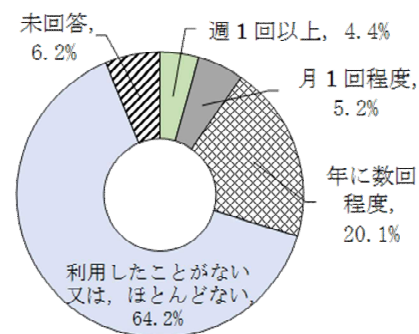
狛江市民センター(中央公民館、中央図書館)について、今後の改修規模や改修方法等を検討していく上での基礎資料とするためにアンケート調査を実施しました。

○調査概要

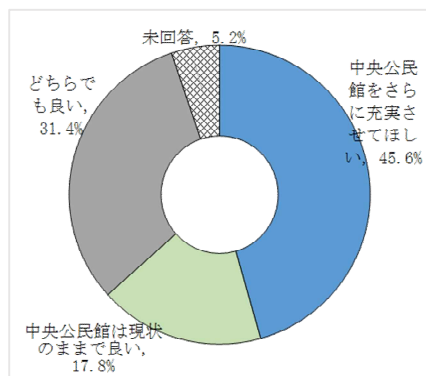
項目	内 容
調査名	狛江市民センター(中央図書館・中央公民館)に関する市民アンケート
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査対象	狛江市住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民2,500人
調査期間	令和2年2月20日(木)～3月27日(金)
調査内容	属性/利用状況/中央公民館・中央図書館に対する考え方 市民センターの改修についての考え方 等
配布数/回収数(回収率)	2,500票/827票(33.1%)

現在の中央公民館の利用頻度としては、「利用したことがない又は、ほとんどない」が最多で、64.2%を占めました。月1回以上の定期的な利用をしている回答者は約10%となっています。中央公民館に対する考え方としては、「中央公民館をさらに充実させてほしい」が45.6%を占めており、その理由としては「今はあまり利用していないが、充実したら利用してみたいから」35.0%、「機材や設備を今よりも充実させてほしいから」13.8%、「講座や講演会等に参加している、又は参加したいから」12.2%と続いています。

○中央公民館の利用頻度



○中央公民館に対する考え



○中央公民館をさらに充実させてほしい理由

理由	票数	構成比	順位
今はあまり利用していないが、充実したら利用してみたいから	252	35.0%	1位
機材や設備を今よりも充実させてほしいから	99	13.8%	2位
講座や講演会等に参加している、又は参加したいから	88	12.2%	3位
部屋の数を今よりも多くして、予約を取りやすくしてほしいから	83	11.5%	4位
グループ活動に参加している、又は参加したいから	69	9.6%	5位
開館時間を長くしてほしいから、行きたい時間帯や曜日に開館しているように拡大してほしいから	44	6.1%	6位
部屋を今よりも広くしてほしいから	35	4.9%	7位
他の施設(地域・地区センター、西河原公民館等)では足りないから	32	4.4%	8位
他の団体や市民と交流している、又は交流したいから	18	2.5%	9位
合計	720		

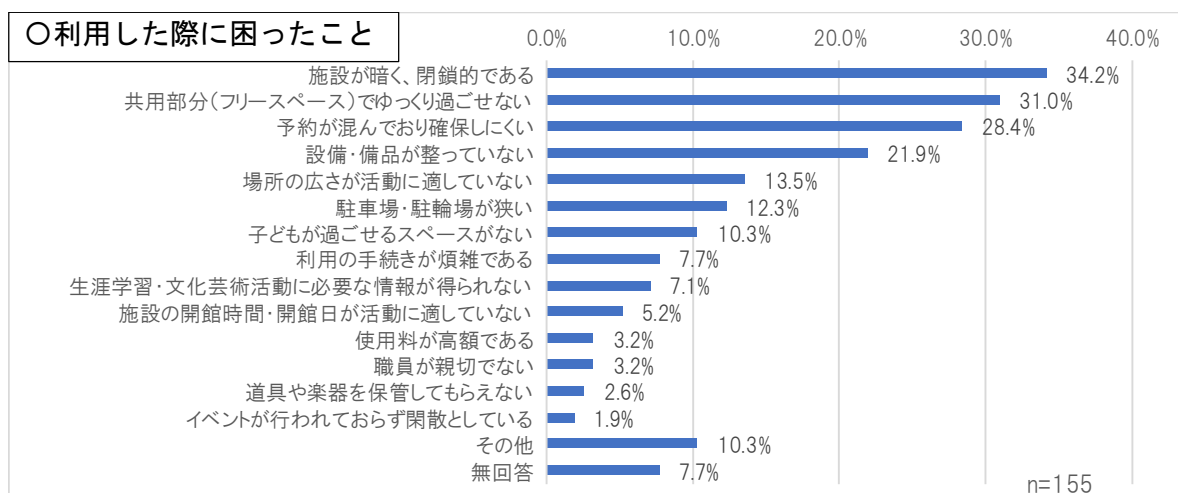
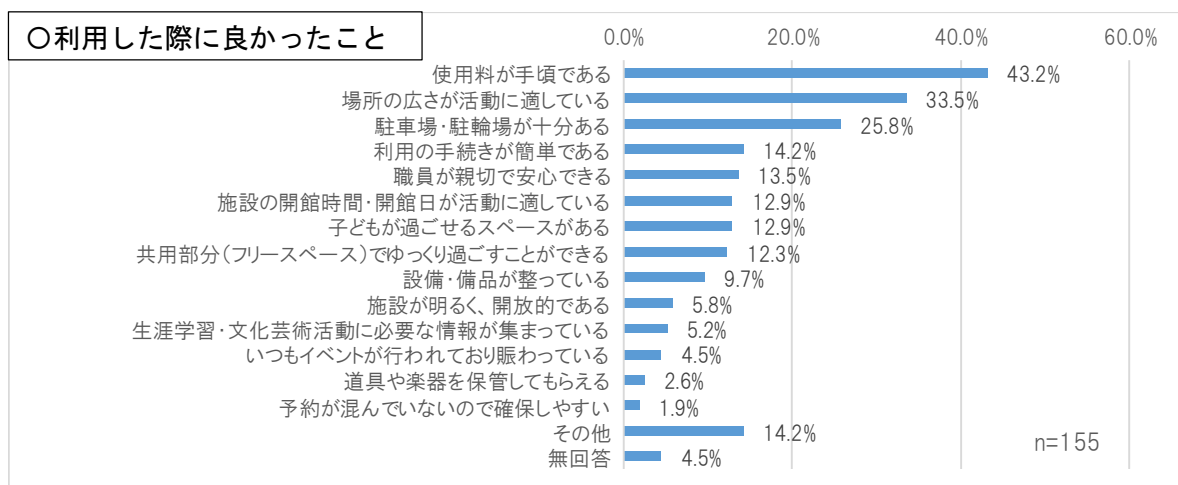
(2) 市民センター改修に向けた Web アンケート調査結果

現市民センターの利用経験のほか、利用した際に良かったこと・利用した際に困ったことなどを幅広く聴取するため、市内在住・在勤・在学者に対して Web アンケートを実施しました。

○調査概要

項目	内 容
調査名	市民センター改修・新図書館整備に向けたアンケート
調査方法	Web アンケート(※問合せがあった場合は紙面回答にも対応)
調査対象	13 歳以上の市内在住・在勤・在学者
調査期間	令和3年8月 15 日(日)～9月 15 日(水)
調査内容 (公民館・市民活動支援 センター関連)	属性／市民センターの利用経験／市民活動支援センターの利用経験 市民センターの満足度 等
回収数	244 票(Web:171 票、紙面:73 票)

利用した際に良かったこととして、「使用料が手頃である」に次いで「場所の広さが活動に適している」が多くなっています。一方で、施設利用の際に困ったこととして、「施設が暗く、閉鎖的である」「共用部分(フリースペース)でゆっくり過ごせない」「予約が混んでおり確保しにくい」こととなっています。



(3) 公民館利用団体向けアンケート調査結果

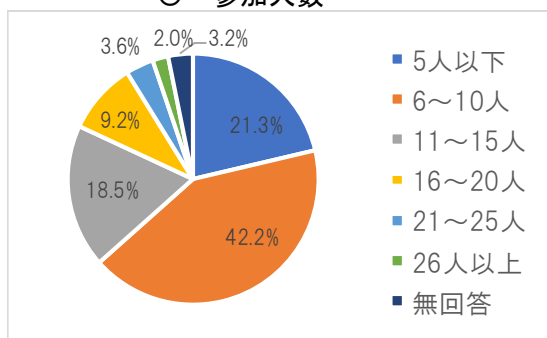
現施設の利用者に対して、活動状況の実態の把握や、利用者目線における改修への要望点などを明らかにするため、利用する上で重視すべき点や、活動を行う上で困っている点などを中心にアンケートを実施しました。

○調査概要

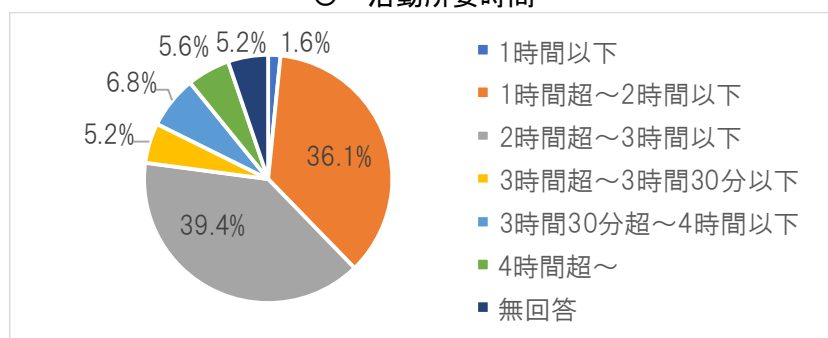
項目	内 容
調査名	狛江市民センター改修に係るアンケート（利用団体アンケート）
調査方法	紙アンケート(専用 Web ページからの回答も可能)
調査対象	中央公民館・西河原公民館の利用団体
調査期間	令和3年9月 21 日(火)～10 月 20 日(水)
調査内容	団体の概要/日常活動の時期・頻度・時間・人数・場所について/中央公民館を利用した際の良かった点・課題点について 等
発送数/回収数	634 票/249 票(回収率 39.3%)

団体活動の参加人数の約6割が10人以下となっており、小規模な活動が中心となっています。**活動所要時間に関して、3時間以下となっている団体が約7割**となっており、**利用区分の時間枠を使い切れていない**状況です。また、施設の課題点としては、「**予約が混んでおり確保しにくい**」が50%以上あり一番多くなっています。

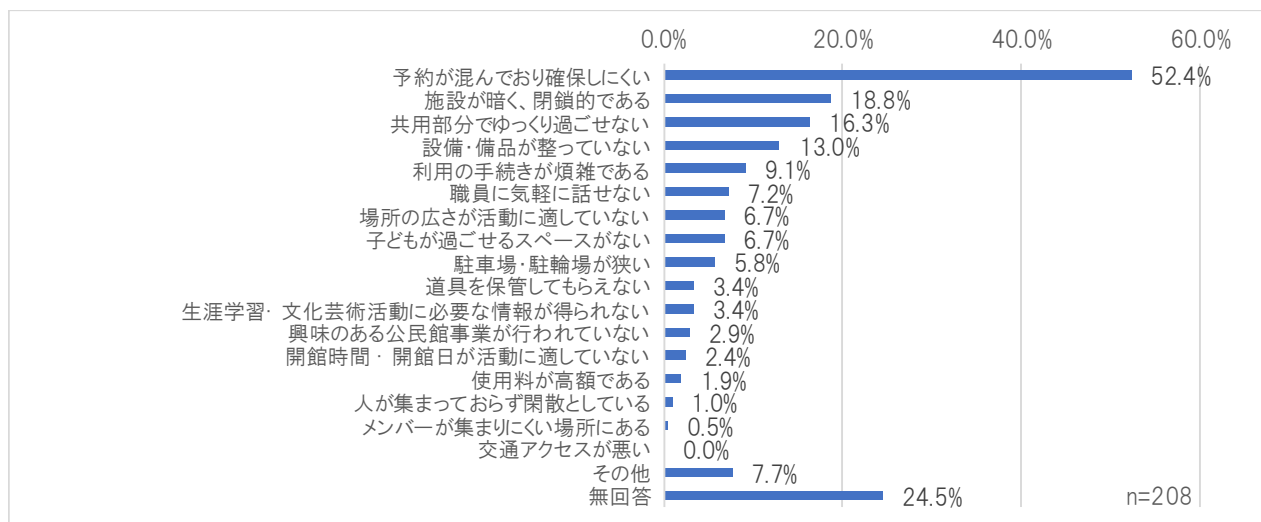
○参加人数



○活動所要時間



○中央公民館の課題点



(4) 市民活動支援センター利用者向けアンケート調査結果

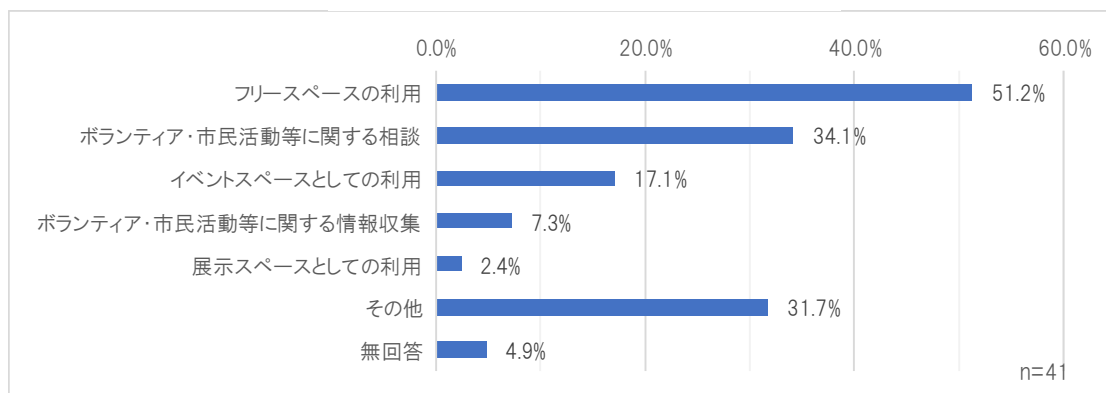
市民活動支援センターの利用者に対して、活動状況の実態の把握や、利用者目線における改修への要望点などを明らかにするため、利用する上で重視すべき点や、活動を行う上で困っている点などを中心にアンケートを実施しました。

○調査概要

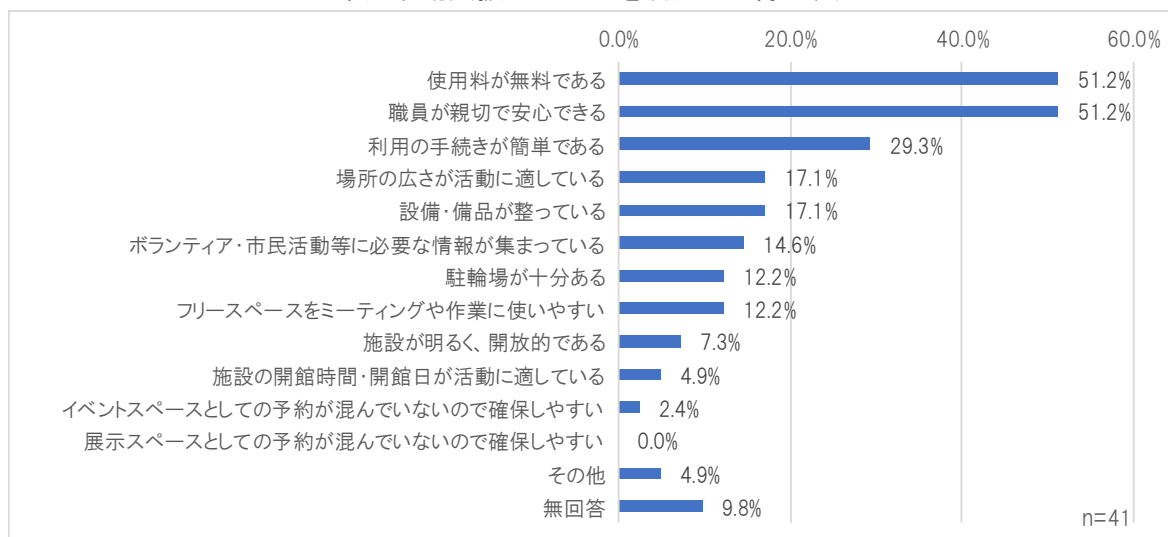
項目	内 容
調査名	市民センター改修に関するアンケート結果(こまえくぼアンケート)
調査方法	Web アンケート・紙アンケート
調査対象	市民活動支援センター登録団体または利用者等
調査期間	令和3年9月 21 日(火)～10月 20 日(水)
調査内容	市民活動支援センターの利用経験・利用頻度・利用目的・長所・課題点・利用したことがない理由
回収数	166 票

施設の利用目的としては、半数以上の利用者が「フリースペースの利用」と回答しており、「ボランティア・市民活動等に関する相談」での利用を上回っています。利用した際に良かったこと・維持したいことに関しては、「使用料が無料であること」、「職員が親切で安心できること」など、ソフト面での内容に関する回答が多い結果となりました。

○市民活動支援センターの利用目的



○市民活動支援センターを利用した際に良かったこと



(5) 市民ワークショップ結果

改修後の市民センターに導入される機能やスペースに関して自由な意見を聴取するため、全7回の市民ワークショップを実施しました。

市民ワークショップでは、現在の市民センターの良いところ・改善したいところから始まり、参加者からワークショップの手法について意見をいただきながら、新しい市民センターに必要な設備・機能、また部屋の配置・面積についてアイデアを出していただきました。また、新図書館整備ワークショップとの市民センター図書コーナーに関する合同のワークショップを経て、今までの市民意見を踏まえたブロックプラン案への意見をいただきました。

○市民ワークショップの実施概要

項目	内 容
名称	狛江市民センターを考える市民ワークショップ
対象	中学生以上の市内在住・在学・在勤者
回数・期間	全7回・令和3年7月～令和4年6月
参加申込者数	23名
各回テーマ (開催日)	第1回: 狛江のじまん・ふまん ～より良くしたい！改善したい！～(令和3年7月11日(日))
	第2回: 意見交換(令和3年10月31日(日))
	第3回: 新しい市民センターに必要な設備・機能を考えよう！(令和3年12月12日(日))
	第4回: 部屋の配置・部屋の面積を考えよう(令和4年3月27日(日))
	第5回: 新しい市民センター図書コーナーの機能・配置・面積を考えよう！(合同)(令和4年4月10日(日))
	第6回: ブロックプランを考えよう(令和4年5月15日(日))
	第7回: 市民センター改修基本構想(案)～新しい市民センターの使い方を考えよう～(令和4年6月12日(日))

○市民ワークショップ参加者意見概要

第1回	
必要なスペース	
<ul style="list-style-type: none"> ・ フリースペース ・ 飲食できるスペース ・ 子ども用のスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防音・音響設備のある部屋 ・ 学習スペース ・ 多目的に使える活動スペース
ソフト面で改善したいこと	ハード面で改善したいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ IT・ネット環境の充実 ・ 貸し室の予約システム ・ 居場所・コミュニティ ・ 学びの機会・講座 ・ 職員・事務室 ・ 運営面の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの改善 ・ バリアフリー化 ・ 料理実習室の改善 ・ 図書館スペースの確保、一体整備 ・ 備品更新 ・ 自然が足りない ・ スペースが足りない ・ 環境配慮

第2回

自由意見

- 基礎調査結果に関して
- 図書館検討スケジュールとの関係
- ワークショップの手法に関して
- 市民センターのコンセプトに関して

第3回

新しい市民センターに必要な機能・スペース（施設全体に関して）

- ・IT・ネット環境の充実
- ・屋外の活用
- ・市民ひろばとの回遊性
- ・貸出区分の見直し（3区分→4区分）
- ・交流、飲食ができる機能
- ・子ども・親子連れが利用しやすい
- ・自習・ワークスペース・コワーキングスペース
- ・オープンな事務室、気軽に話せるスタッフ
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン
- ・環境配慮
- ・トイレの改修
- ・コミュニティスペース
- ・他公共施設との連携

第4回

新しい市民センターに設けたいエリアのアイデア

グループ①	社会教育エリア	会議室/視聴覚室/防音室/理科実験ができる部屋 料理実習室/講座室/ホール/和室/美術工芸室など
	市民交流エリア	テラスの活用/フリースペース/交流スペース/自習スペース 親子・子どもが遊べるスペース 保育室/授乳・オムツ替えのスペース
	市民活動エリア	市民活動支援センター機能/団体活動室
グループ②	防音重視・イベントエリア	講座室/視聴覚室/ホール/防音室/美術工芸室 ミニコンサートスペースなど
	誰でもエリア	交流スペース/展示スペース/コミュニティスペース 親子・子どもが遊べるスペース/市民活動センター機能など
	静かな学習エリア	社会教育、学習機能/コワーキングスペース/料理実習室 カフェ喫茶スペース/会議室/自習スペース/和室など
グループ③	活動エリア	防音室、視聴覚室など/テラスを活用できるスペース キッチン&飲食スペース/コミュニティスペース
	ブックカフェ・交流・ コミュニティエリア	市民活動支援センター機能/カフェ/フリースペース/閲覧室 フロア全体を図書館スペースに
	貸出諸室エリア	多目的室/会議室/ホールなど

第5回		
市民センター図書コーナーの 機能・配置・面積		理由
・子ども図書館/子育て世代中心/子ども用の本のスペースと読み聞かせスペース		・子どもと気軽に利用したい/子どもの本を増やしたい/市民センターとの相乗効果
・ゆったり滞在型/新聞雑誌コーナー/フリースペース/イベントスペース/ブックカフェ		・多世代が交流できる機会が必要/市民センターの交流機能を活かす
・狛江のコーナー/水害など防災の情報を流す		・狛江を知ってもらいたい/様々な目的で訪れる人がいる
・電子書籍を充実/PCで電子書籍を		・感染症対策/省スペース化/シニア層・障がい者にもやさしい
・予約・受取り等/専門スタッフは置かない		・図書コーナーは限定的でよい
・市民活動支援センター等と一体化		・スペースの有効活用
第6回		
階数	部屋名	意見
2階	多目的室(大)	・講座室は縮小せず、名称もそのまま残す
	多目的室(中)	・100㎡程度の部屋を残す ・可動間仕切りは反対
	多目的室(小)	・部屋を分けると使いづらい
	スタディーコーナー	・いいね! ・いつでも自由に使える、フリースペースとする
	保育室	・図書コーナーの一部とする
	屋外テラス	・テラスの活用、テント屋根の設置
地下1階	多目的ホール	・ホールの間仕切りはしない
	ティーンズラウンジ	・平日午前の活用方法→乳幼児連れの保護者ラウンジにする ・図書館ボランティア室と入れ替え ・入りやすい設えにする
	ティーンズスタジオ	・フリースペースとする ・キッチンスタジオと入れ替え
	キッチンスタジオ	・明るい場所に食事スペースを確保 ・ティーンズスタジオと入れ替え ・作ったものを食べるスペースが同じフロアに必要
	団体活動・情報コーナー	・倉庫の充実、フリーコーナーの活用
1階A案	図書コーナー	・いいね! ・事務室はカウンターとする
	市民活動支援センター	・市民活動支援センターとのコラボレーションを重視
	オープンテラス	・屋根付きとする
	フリースペース	・いいね!
1階B案	市民活動支援センター	・いいね! ・フリースペースと分割しない ・別の場所に移転させる
	図書館ボランティア 対面朗読室	・保育室にする ・ティーンズスタジオと交換
	フリースペース	・いいね! ・オープンカフェを設けたい
	総合事務室	・いいね! ×2 ・総合事務室は良い ・施設間の相互利用 ・事務室はオープンに
	オープンテラス	・いいね! ・飲食可能、テイクアウトを利用 ・外からも入れる
	トイレ・倉庫	・いいね!

※「いいね!」:特に良くなった箇所には、図面にイネシールを貼ってもらいました。

第7回

階数	部屋名	意見
2階	多目的室(小)	・間仕切りには反対、小さい部屋は必要ない
	和室	・踊りやヨガで使う利用者の声を聞いているか
	スタディーコーナー	・座席指定とする ・スタディーコーナーは必要、子どもたちの学習スペースを
	対面朗読室	・防音とする
	屋外テラス	・雨天時対策 ・オープンテラスで食事
	その他	・料理実習室は2階に設置したい ・図書館関係の部屋が分割されており不便、ボランティア活動室や録音室は新設図書館にまとめる方がよい ・郷土資料室、博物館機能
地下1階	多目的ホール	・間仕切りは設置しても良いのではないか(控室利用など)
	スタジオ	・鏡が必要、使わないときにはカーテンを掛ける
	ティーンズルーム	・利便性を考慮して1階に設置 ・ユースワーカーのような職員を配置 ・平日は不登校児を受け入れられないか、不登校児のためのスペース、フリースクール ・子ども食堂の際にはティーンズルームを食堂としてティーンも食べられるように
	クラフトスタジオ	・理科実験もできる設備
	キッチンスタジオ	・テーブルを囲むように水回り、調理場を設ける ・ティーンズルームの位置に移動、隣に食事できる部屋を ・災害時対応を考えると、地下ではなく2階に設置したい ・その場で調理して食べるには狭い ・若者の利用、コミュニティスペースと一緒に使えるような工夫
	団体活動情報コーナー	・市民活動支援センターと共用とできないか ・上部の壁を補強し、耐震壁を撤去したい
	その他	・青少年優先会議室 ・部屋名の表記は日本語にする
1階	市民活動支援センター	・フリースペースとしたい ・市民活動を目的としたスペースが一定規模必要 ・夜間も利用できるようにする、閉館時間まで開ける
	フリースペース オープンテラス	・フリースペースが多く、誰でもいつでも無料で利用できるのは良い ・イベント時には貸し切りができるように、市民のイベントスペースとしても活用 ・ソファを設置 ・壁面を展示スペースとする ・新聞雑誌・公民館活動のための資料を置く、図書の持ち込みができるようにする ・印刷コーナー ・保育室と連携した子ども用・子育て世代用フリースペース ・ジャックポットの場所を公共スペースとして活用 ・公民館スペースとしてカフェスペース、障がい者雇用の場としての食堂、雨の日でも使えるオープンカフェ
	その他	・個室は有料、フリースペースは無料 ・環境配慮は明確な目標を持つべき ・公民館スペースが不足している ・会議室(小)をつくる

(6) 小中高生ワークショップ結果

改修後の市民センターや新設図書館の使い方について、若い世代からの意見やアイデアを取り入れるため、小中高生を対象としたワークショップを実施しました。

使い方や運営面に関しては、習い事や楽器演奏、学校の課題を行いたいという具体的な利用イメージのほか、施設で行われる地域イベントや交流イベントの企画や運営に関わりたいという意見もありました。施設面に関しては、友達と会話をしながら自由に使えるフリースペース・学習スペースの充実や、Wi-Fiなどの設備に関する意見がありました。

○小中高生ワークショップの実施概要

項目	内 容
名称	みんなの思いえがく市民センターと新図書館を考える小中高生ワークショップ
対象／参加者数	市内在住・在学の小学5年生～高校3年生／6名(うち3名はオンライン参加)
開催日	令和4年3月27日(日)
テーマ	新しい市民センター・新図書館を皆さんはどのように使いたいですか？

○小中高生ワークショップの参加者意見概要

意見の概要
<p style="text-align: center;">使い方や運営面の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習い事を行う、施設に通う人を増やす(絵はがき講座、プログラミング講座など) ・女子会、ママ友会 ・楽器の演奏 ・学校の課題をしに来られる、資料・PCを使える、年上の人に相談できる ・誰かに相談したり、話しに来られる場所 ・小中高生向けの劇をやるイベント(施設の運営・活動への参加) ・地元で社会福祉に関わることを学ぶ、他の学校と協働して街を盛り上げるイベントを企画 ・キャンドルナイトイベントの運営を地域の小中学生と協力 ・世代を超えて人と関われるイベント ・家でも学校でもない人と関われる、友達を作れる
<p style="text-align: center;">施設面の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースペースは図書室空間と融合させる、本棚と合わせて利用できるようにする ・Yogiboなどを置いて、そこで本も読めるようにする ・フリースペースに5～6人で利用できる机、椅子を設置 ・学習スペースがあるとよい、集中したい人向けの有料スペース、友達と会話しながら利用する人向けの無料スペース ・写真映えする場所 ・事前に予約して利用できる空間 ・音楽スタジオ ・BGMが流れている場所 ・地場野菜を宣伝でき、屋外テラスでも食べられるカフェ ・地下テラスの天井をガラス張りにする、植物を植える、吹抜けや中庭など、自然を感じる空間 ・駐輪スペース、強風でも自転車が倒れないように風を防ぐものを設置 ・無料Wi-Fi

(7) 福祉団体アンケート調査結果

現市民センターを利用する福祉団体に対して、現施設の利用におけるソフト面・ハード面に対する満足度を調査し、改修後の市民センターの施設計画のバリアフリー面に対する要望を抽出するため、7団体にアンケートを実施しました。

特にハード面に対してはやや不満、非常に不満と回答した団体が多く、トイレ、段差解消、点字表記・盲導鈴の設置などに関するバリアフリー面の対応に対する意見や、講演会利用のしやすさに対する設備面での意見がありました。

○福祉団体アンケート意見概要

意見の概要
ソフト面の意見
<ul style="list-style-type: none">・障がい者団体には優先して予約を受け付けてほしい・受付での簡単な手話対応ができる職員が増えるとよい・ヒアリングループの設置・施設貸出の際の窓口の方の対応は快い
ハード面の意見
<ul style="list-style-type: none">・バリアフリー化の推進、エレベータ/階段/トイレまでの誘導ブロック設置、地下1階の階段付近に段差があり危険、施設入口に盲導鈴をつけてほしい・各部屋の扉や階段手摺に点字表記があるとよい、廊下にも手摺を設置・部屋の名前や案内表示は弱視者や高齢者にも見やすい、はっきりとした色としたい・部屋の入口は車椅子利用者も入りやすいようにしたい・空調の音が大きくて気になる、空調の効きが均一になるようエアコンの設置位置調整・プロジェクターの台数・Wi-Fi環境の充実、PCのみを持ち込めば講演会ができるような設備機器・終了時間が分かるように、光などを使ったランプを付けてほしい・時計を設置してほしい・照明を明るくしてほしい・壁面や床などは暖かい色としてほしい・トイレが古い、トイレの数を増やす、ウォシュレット/オストメイト等の設備充実、車椅子利用者でも入りやすいトイレがない、各階に車椅子トイレを設置・障がい者専用の駐車スペース設置

2. 利用状況と課題

(1) 市民センター（中央公民館）の利用状況と課題

1) 市民センター（中央公民館）の利用状況

現市民センターの諸室に関して稼働率、利用人数、利用ジャンル等を明らかにするため、利用状況調査を行いました。

○利用状況調査概要

項目	内 容
調査名	狛江市民センター 貸出諸室利用状況調査
調査年度	令和2年度、平成31年度 (平成30年度はシステム更新前のため情報なし) 平成31年度:開館日数 309日(貸出日数 304日) 令和2年度 :開館日数 264日(貸出日数 264日)
元データ	中央公民館 予約一覧表による データの内訳は下記のとおり 利用区分(午前・午後・夜間)、利用団体、利用ジャンル、利用室名、利用人数 対象諸室:ホール、第一～第四会議室、講座室、視聴覚室、美術工芸室、料理実習室、和室、保育室

市民センターの部屋は、全体的に稼働率(利用された枠/利用出来る枠数)が高くなっています。利用用途が限られる保育室を除くと、稼働率が令和2年度で57.4%、平成31年度で77.3%です。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため開館日数が少なく部屋の貸出にも制限があり稼働率が低めですが、平成31年度はほとんどの部屋で7割を超え、9割に迫る部屋もありました。ホール・第四会議室・視聴覚室・和室は両年度において特に稼働率が高く、よく利用される部屋であると言えます。

人数規模としては10人以下での利用が圧倒的に多く、30人を超える規模での利用は非常に少ないことから、市民センターの部屋は少人数での利用が主であると言えます。

利用用途では、第四会議室・講座室を会議目的以外に演劇・舞踊等で利用するほか、美術工芸室や料理実習室を会議目的で使うなど、各部屋の専門性を十分に活かし切れていない利用が見られます。

利用時間区分に対する活動時間に関して、現状の利用区分の時間枠を使い切れている団体は多くなく、3時間を超えて使える時間設定でも、多くは平均3時間(180分)を下回る活動時間となっています。

○市民センター諸室稼働率 左:令和2年度、右:平成31年度

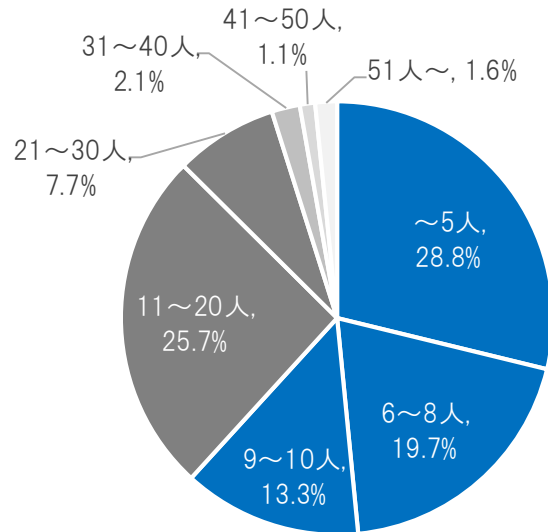
令和2年度	利用件数計	稼働率(%)
ホール	553	73.5%
第一会議室	396	52.7%
第二会議室	313	41.6%
第三会議室	428	56.9%
第四会議室	540	71.8%
講座室	451	60.0%
視聴覚室	520	69.1%
美術工芸室	399	53.1%
料理実習室	212	28.2%
和室	504	67.0%
保育室	107	-
平均(保育室を除く)		57.4%

平成31年度	利用件数計	稼働率(%)
ホール	797	87.6%
第一会議室	767	84.3%
第二会議室	654	71.9%
第三会議室	783	86.0%
第四会議室	742	81.5%
講座室	692	76.0%
視聴覚室	786	86.4%
美術工芸室	583	64.1%
料理実習室	466	51.2%
和室	760	83.5%
保育室	210	-
平均(保育室を除く)		77.3%

※以下、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない平成31年度データを使用

◎利用人数

		利用件数	割合	
~10人	~5人	2,085件	28.8%	61.8%
	6~8人	1,423件	19.7%	
	9~10人	964件	13.3%	
11~20人		1,860件	25.7%	
21~30人		555件	7.7%	
31~40人		154件	2.1%	
41~50人		81件	1.1%	
51人~		118件	1.6%	



- ・本来用途の「会議・教養」以外に「演劇・舞踊」でも利用されている。
- ・比較的面積が広い「演劇・舞踊」で利用されていると推察できる。

◎第四会議室・講座室

	音楽	演劇・舞踊	会議・教養	工芸	調理	保育	その他不明	計
第四会議室	56	297	347	0	0	0	42	742 件
	7.5%	40.0%	46.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	
講座室	28	191	407	0	0	0	66	692 件
	4.1%	27.6%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	

- ・本来用途の「工芸」「調理」での利用が少ない。
- ・「会議・教養」の利用が多い。

◎美術工芸室・料理実習室

	音楽	演劇・舞踊	会議・教養	工芸	調理	保育	その他不明	計
美術工芸室	0	0	269	288	0	0	26	583 件
	0.0%	0.0%	46.1%	49.4%	0.0%	0.0%	4.5%	
料理実習室	29	0	223	0	105	0	109	466 件
	6.2%	0.0%	47.9%	0.0%	22.5%	0.0%	23.4%	

- ・統計上、現状の区分の時間枠を使い切れている団体は多くない。
- ・3時間を超えて使える時間設定でも、多くは平均3時間(180分)を下回る活動時間となっている。

◎利用時間区分と活動時間の分析

		第一会議室	第二会議室	第三会議室	第四会議室	視聴覚室	ホール
午前 (9時～12時) 180分	区分内の活動時間 (平均)	141.7分	142.4分	133.3分	163.5分	152.2分	156.6分
	区分内の活動時間 /午前の区分	78.7%	79.1%	74.1%	90.8%	84.6%	87.0%
午後 (13時～17時) 240分	区分内の活動時間 (平均)	205.7分	171.7分	187.4分	192.2分	170.5分	197.1分
	区分内の活動時間 /午後の区分	85.7%	71.5%	78.1%	80.1%	71.0%	82.1%
夜間 (18時～ 21時30分) 210分	区分内の活動時間 (平均)	137.9分	143.6分	129.2分	153.1分	155.4分	166.0分
	区分内の活動時間 /夜間の区分	65.7%	68.4%	61.5%	72.9%	74.0%	79.1%

2) 市民センター（中央公民館）の課題

これまで実施した市民アンケート、市民ワークショップ、利用状況調査等により、市民センターにおける主な課題は以下のとおりとなります。

①予約が混んでいるため、部屋を確保しにくい

利用状況調査結果のとおり、現市民センターの稼働率は高水準となっています。施設が活発に利用されている反面、利用者からは「予約が混んでおり確保しにくい」という意見があります。

施設面と合わせて、運営面においても、施設の予約を取りやすくするような方策を検討した上で改修する必要があります。

②共用部でゆっくり過ごせない（施設が暗く、閉鎖的である）

アンケートでは、施設利用の際に困ったこととして、共用部分（フリースペース）でゆっくりと過ごせないという意見が出されています。フリースペースを充実させ、明るく開放的な空間とすることなどの対応が必要となっています。

③活動で利用できる時間枠を使い切れていない

活動所要時間に関して、3時間（180分）以下となっている団体が多く、利用区分の時間枠を使い切れていない状況が見られます。利用区分を分割して利用枠を増やすことができれば時間を有効に活用でき、団体活動の機会を増やすことも可能であると考えられます。

④用途に合った部屋が足りないため、別の部屋を使っている

会議室や講座室を演劇・舞踊等で使用するほか、美術工芸室・料理実習室を会議目的で使うなど用途に合った部屋が足りないため、別の部屋を使っている状況となっています。

これは演劇・舞踊等の団体が使用する部屋が足りないことによって生じていると考えられ、演劇・舞踊等目的の利用者が会議室を使わずに活動できるようにすれば、解消される考えられます。

また、上述の課題に対する解決案を以下の3点に整理し、市民ワークショップ等で意見をいただきながら、基本構想案を検討しました。

解決案①：利用区分を分割して、利用（予約）枠を増やす

解決案②：利用状況の分析結果から需要の多い部屋を増やす

解決案③：開放的でゆとりのある共用部分をつくる

(2) 市民活動支援センターの利用状況と課題

1) 市民活動支援センターの利用状況

	利用者数	利用目的								
		センター事業	打合せ等	相談	登録	情報発信	情報収集	VO保険	団体イベント	その他
H31年度	5,780	1,355	1,563	413	32	125	164	237	242	1,649

- ・センター事業 ……センター主催による講座、勉強会等の参加
- ・打合せ等 ……フリースペースの利用
- ・相談 ……ボランティア・市民活動に関する相談、団体運営に関する相談等
- ・情報発信 ……団体等からの情報発信に関する依頼
- ・情報収集 ……ボランティア・市民活動に対しての館内掲示等での情報収集、問合せ
- ・VO保険 ……ボランティア保険、行事保険加入での来館
- ・団体イベント ……市民活動団体が主催するイベント、講座等
- ・その他 ……印刷機の使用、情報収集用端末の利用など

2) 市民活動支援センターの課題

現在の市民活動支援センターの課題の一つとして、市民に対する認知度が低いことがあげられます。現在の場所(小田急線高架下)では、他の施設とは独立していることから、ふらっと気軽に立ち寄りやすいことや、日によっては来館者が少ないことなどがあります。また、何のための施設か知らない市民も多く、市民活動支援センターについての周知や情報発信を行い、市民活動の活性化につなげる必要があります。

第Ⅲ章 市民センター改修基本構想

1. 新しい市民センターの基本的な考え方

(1) 基本方針におけるコンセプト

基本方針では、人生 100 年時代に向けて、ライフステージに応じた多様な生涯学習の場が必要であり、そのために様々な団体の活動の場や市民と団体の交流の場づくり、団体間の連携や支援などを通じて、市民の自主的な活動を支援することにより生涯学習及び市民活動の充実を図ることとしています。

基本構想においても、「人生 100 年時代に向けた生涯学習と市民活動の連携」を基本的な考え方としています。

人生 100 年時代に向けた生涯学習と市民活動の連携

(2) 多くの人に愛される市民センターを目指して

令和3年4月1日号広報こまえにて「多くの人に愛される市民センター・新図書館を目指して」と題して、広く市民の皆さまに市民センター改修の考え方をお伝えしました。広報で示した「もっと便利に」「つながる」「学びの中心」を踏まえて市民センターを改修(リノベーション)します。

また、子育て世代や若年層などの利用を促し、多世代の交流の場として、多くの人に愛される市民センターを目指します。

もっと便利に

利用しやすい空間となるような施設のリノベーションを行い、使いやすく親しみやすい市民センターを目指します。

つながる

誰もが訪れ交流したくなる、人がつながる市民センターを目指します。

学びの中心

人生 100 年時代に向けた生涯学習の場の充実と、地域コミュニティ活動などに関わる市民活動を目指します。

(3) 市民センター改修における視点

◆より多くの人に開かれ、すべての世代が集う施設整備

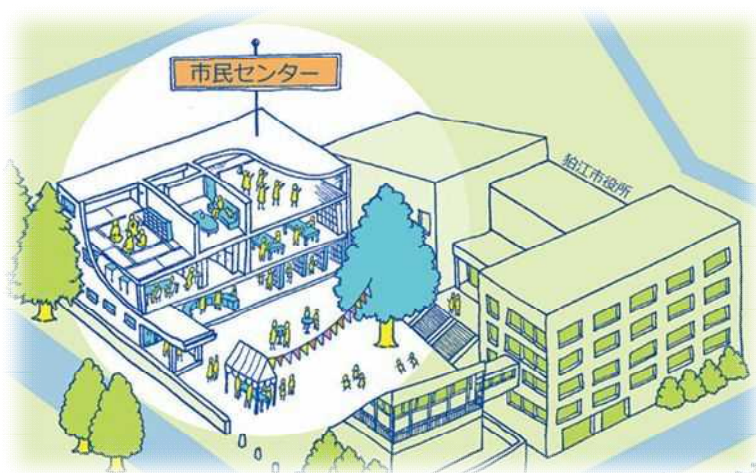
公民館、図書コーナー、市民活動支援センターの利用者のほか、多くの市民に利用していただくためには、多様な機能を有する施設に整備する必要があります。フリースペースを充実させるとともに、子どもや若者の居場所や学習スペースなど新たな機能を付加することで、より多くの人に開かれ、すべての世代が集う施設に整備します。

◆施設と運営の両面による環境整備

市民センターの改修にあたっては、市民のニーズや現状の課題を考慮しつつ、限られたスペースを有効に活用し、それぞれの機能を充実させる必要があります。そのためには、施設を整備するだけでなく、運営面でも見直し、効率的かつ利便性を向上させることにより、多くの人が利用しやすい環境づくりに努めます。

◆3つの機能の有機的な連携

市民センターに入る3つの機能(公民館、図書コーナー、市民活動支援センター)がそれぞれの役割を発揮しながら有機的に連携できるよう配置します。3つの機能が連携することにより、効率的な運営と効果的な事業を展開して、生涯学習と市民活動の相乗効果を図り、市民の生涯を通じた「学び」と「市民活動」を支援します。

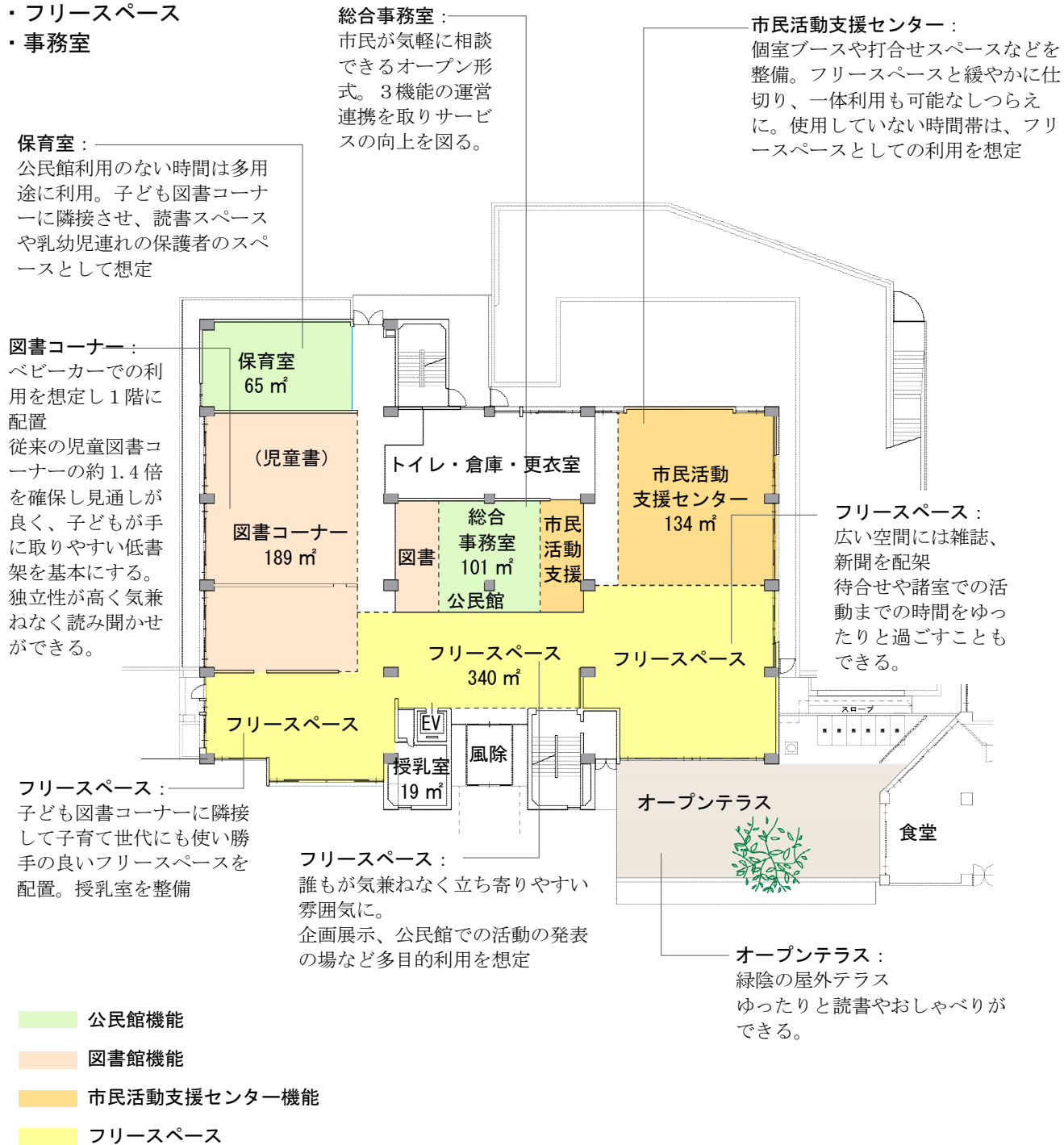


2. 市民センターの改修施設計画

(1) ブロックプラン（施設面）

■ 1階 <交流・コミュニティフロア>

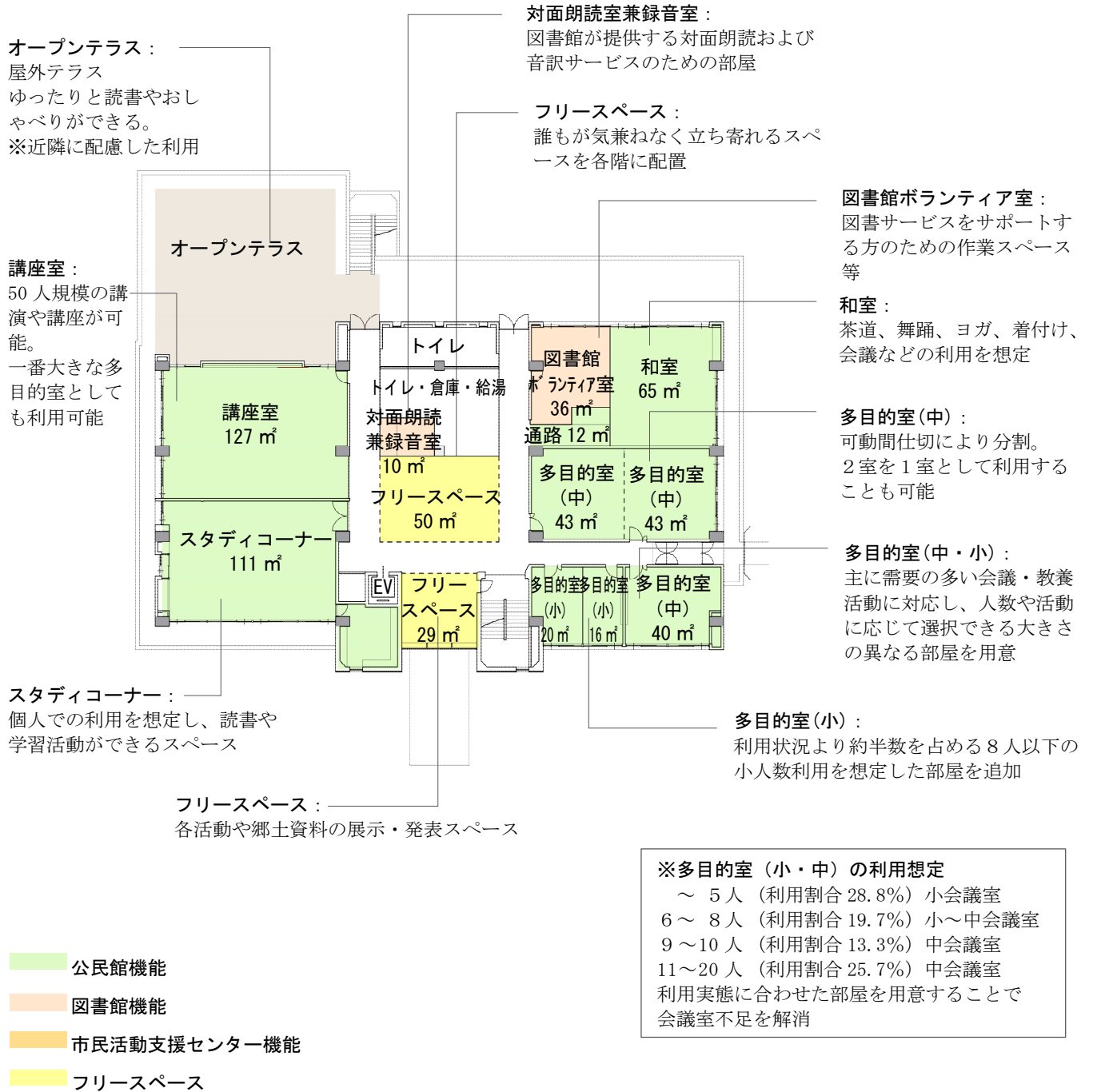
- ・ 図書コーナー
- ・ 市民活動支援センター
- ・ フリースペース
- ・ 事務室



※面積等は設計段階での詳細検討により変更する場合があります。

■ 2階 <静かな会議・学習フロア>

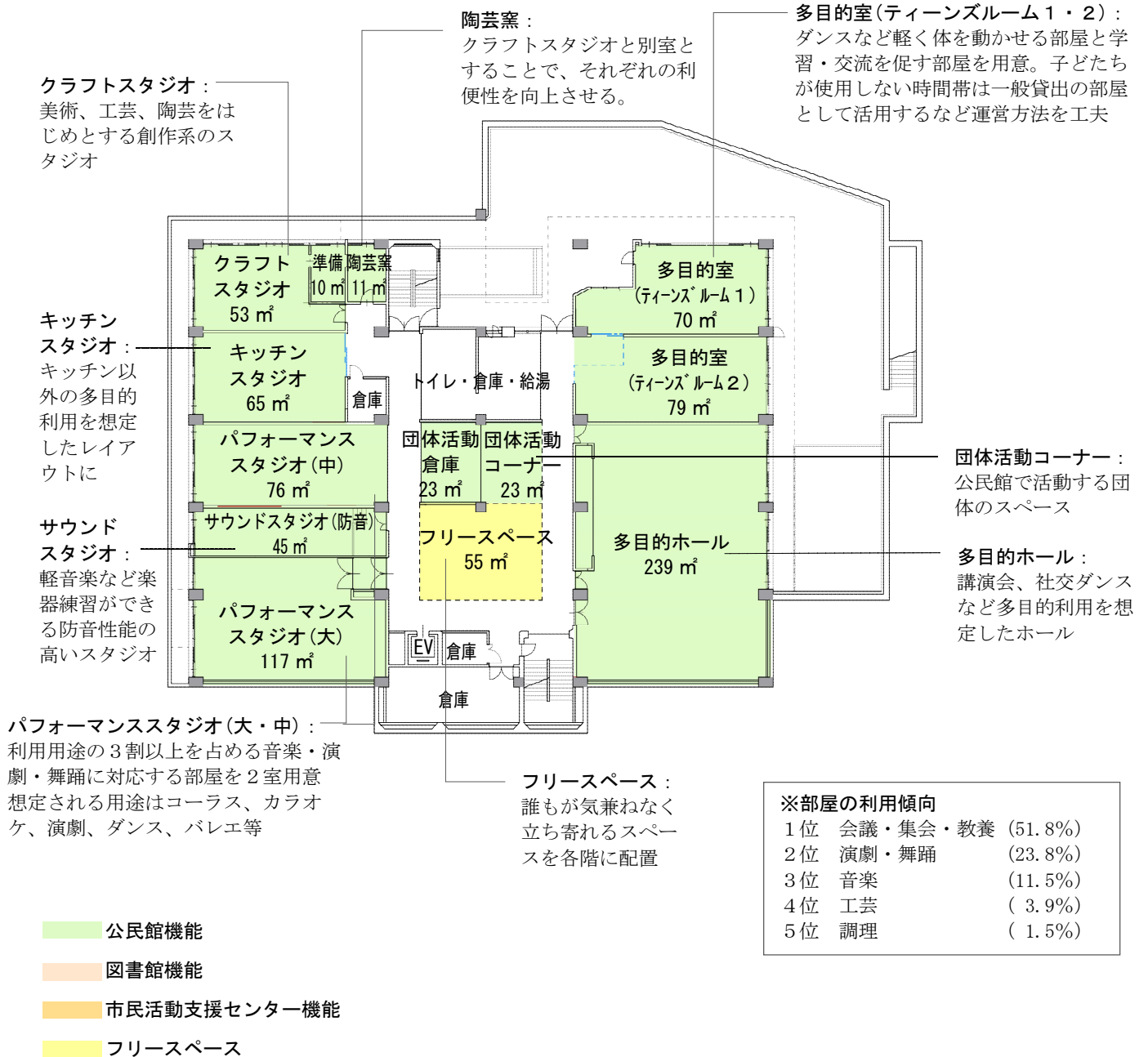
- ・ 会議、打合せ
- ・ 学習スペース



※面積等は設計段階での詳細検討により変更する場合があります。

■地下1階 くにぎやかで多様な活動・イベントフロア>

- ・音楽、ダンス、講演
- ・工芸、調理
- ・子ども、若者の居場所など



※面積等は設計段階での詳細検討により変更する場合があります。

(2) 利用区分の変更（運営面）

市民センターの改修にあわせて、公民館の利用区分を現状の3区分から4区分へ分割して利用枠を増やすことで、利用団体の活動機会を増やし、効率的な運営を図ります。

また、一区分の時間については、公民館利用団体向けアンケートや利用状況調査の結果のとおり、多くは3時間(180分)を下回る活動時間となっていることから、全区分3時間で統一します。

◎利用枠の増加

	3区分	4区分
1日	3枠	4枠
30日	90枠	120枠

◎利用区分時間変更

3区分（現状）		4区分（変更後）	
午前	3時間	午前	3時間
午後	4時間	午後①	3時間
夜間	3時間30分	午後②	3時間
—	—	夜間	3時間
計	10時間30分	計	12時間

(3) 各部屋構成・利用区分（現状と改修後の比較）

市民センター改修にあたり、施設面と運営面の両面で検討した結果、現状と比較して部屋数(分割時)が6部屋増え、利用枠数(4枠)が現状の約 1.8 倍となります。

	現状						改修後						備考	
	用途	部屋名	面積 (㎡)	定員	部屋数	利用枠数 (現状3枠)	用途	部屋名	面積 (㎡)	部屋数	利用枠数 (現状3枠)	利用枠数 (現状4枠)		
公民館機能	会議等の部屋	講座室	127	40	1	900	会議等の部屋	講座室	127	1	900	1,200	部屋数の増及び分割可能とすることで、現状より利用枠数を約1.3倍にし、団体活動スペースを確保(利用区分を4区分とすることで現状の約1.8倍に) 多目的室(中)①②を1室として利用することも可能 《定員の目安》 多目的室(講座室)50名 多目的室(中)20名 多目的室(小)8~10名	
		第一会議室	36	12	1	900		多目的室(中)①	43	1	900	1,200		
		第二会議室	40	12	1	900		多目的室(中)②	43	1	700	1,000		
		第三会議室	43	12	1	900		多目的室(中)③	40	1	900	1,200		
		第四会議室	114	20	1	900		多目的室(小)①	20	1	900	1,200		
	音を出す部屋	ホール	239	150	1	900	音を出す部屋	多目的ホール	239	1	900	1,200		
		視聴覚室	117	40	1	900		パフォーマンススタジオ(大)防音	117	1	900	1,200		
								パフォーマンススタジオ(中)防音	76	1	900	1,200		
	専用用途	和室	74	80	1	900	専用用途	和室	65	1	900	1,200		
		美術工芸室	63	18	1	900		クラフトスタジオ(陶芸窯除く)	53	1	900	1,200		
		料理実習室	65	24	1	900		キッチンスタジオ	65	1	900	1,200		
		保育室	79	-	1	-		保育室	65	1	-	-		
		各階ロビーフロア	310					【新】スタディーコーナー	111	1	-	-		多世代が利用できる学習スペース
	フリースペース						フリースペース	【新】多目的室(ティーンズルーム1)	70	1	300	500		子ども・若者の居場所づくり 子どもたちが使用しない時間帯は一般貸出の部屋として活用
								【新】多目的室(ティーンズルーム2)	79	1	300	500		
								【新】フリースペース(1階)	340	-	-	-		雑誌・新聞コーナーを配置し、気軽に立ち寄り、くつろげる空間に
								【新】フリースペース(2階)	79	-	-	-		
						【新】フリースペース(地下1階)		55	-	-	-			
	小計	1,307		11	9,000		小計	1,748	17	12,100	16,400			
その他	美術工芸室 準備室	11				クラフトスタジオ 準備室	10							
	料理実習室 準備室	10				陶芸窯	11							
	視聴覚室 準備室	45				和室(通路)	12							
	和室(前室)	37				団体活動コーナー	23							
	団体活動室	43				団体活動倉庫	23							
	保育室(調乳室)	7												
	公民館事務室	131												
	小計	284				小計	79							
図書館機能	図書貸出室	381				図書コーナー(児童書)	189							
	読書調査室	125				ボランティア室	36							
	書庫	85				対面朗読室兼録音室	10							
	作業室	57												
	図書館事務室	59												
	小計	707				小計	235							
市民活動支援機能						【新】市民活動支援センター	134					活動支援センター閉館時は、フリースペースとして利用できるように		
	小計	0				小計	134							
その他	郷土資料室	71			別の場所に移設	【新】授乳室	19					子育て世帯が利用しやすいように		
	共用部	1,323				事務室	101					公民館、図書館、市民活動支援センターで共有		
	小計	1,394				共用部(廊下・トイレ・倉庫等)	1,376					トイレを広く、きれいに		
	合計	3,692				合計	3,692							

※利用枠数は3区分：900枠、4区分：1,200枠と仮定する。

※多目的室(中)①②は、200枠分を1室としての利用を想定し、(中)②で枠数を調整している。

※多目的室(ティーンズルーム)は3区分：300枠、4区分：500枠と仮定する。

3. おわりに

市民センター改修基本構想は、ワークショップや各種アンケート等で多くの方の意見を伺いながら策定しました。頂いた意見は様々であり、全てを取り入れることはできませんが、より多くの方が利用しやすく、親しみやすい空間となるとともに、市民センター内の3つの機能が効果的に連携できるよう、各フロアの配置やゾーニング、利用区分等について、基本構想として取りまとめました。

市民センターは、昭和52年11月に開館して今年で45年が経過するとともに、当初の改修予定時期よりも既に7年経過していることから、設備面での老朽化が激しく、根本的な改修が必要となっています。基本構想の検討過程において頂いた意見の中には設備面のほか、設計の中で検討すべき点や運用面での意見もありましたので、参考にさせていただきながら、改修工事に向けた基本設計及び実施設計を進めてまいります。